



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス
コード番号 6961 URL http://www.enplas.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部門長 (氏名) 星野 清孝 TEL 048-253-3131
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,677	26.6	3,049	405.6	3,239	425.5	3,443	—
24年3月期第3四半期	14,755	△9.7	603	△49.4	616	△44.7	△222	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,875百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △844百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	243.84	239.92
24年3月期第3四半期	△15.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	34,271	30,508	88.4	2,122.23
24年3月期	31,309	26,832	84.8	1,887.43

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 30,311百万円 24年3月期 26,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	17.50	25.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	15.8	4,000	248.7	4,000	217.9	3,000	211.4	212.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス
除外 1社 （社名）株式会社エンプラス精機

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	20,232,897株	24年3月期	20,232,897株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,950,074株	24年3月期	6,160,927株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	14,123,355株	24年3月期3Q	14,819,973株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成25年1月30日（水）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) その他の注記事項	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では債務危機をめぐる不透明感が薄らぎ、米国は「財政の壁」を前に予断を許さない状況が続く中でも、住宅、自動車販売が好調に推移しました。中国においても景気の減速感に底打ちの兆しが見え始め、巨大な人口を抱え内需が堅調な東南アジア経済は引き続き好調に推移しました。

わが国経済は、エコカー補助金終了による自動車販売の反動減や日中関係の悪化による輸出の下振れの一方で、年末にかけての円高の緩和を受けて生産や景況感に底入れを探る動きも出てきました。

当社グループが関連する電子部品業界におきましては、OA機器関連は、世界的な需要の失速と在庫水準の適正化の動きの中で低迷する一方で、LED光源液晶テレビは、低コスト化を実現できる光源直下型タイプの採用数が着実に増加しました。半導体業界はPC向けの販売が低迷する一方で、スマートフォン、タブレット用途が好調に推移しました。

このような状況の中、当社は競争が厳しさを増すグローバル市場で打ち勝つために、今期の経営基本方針である「経営基盤の強化」を図るべく、「顧客基盤」、「創造基盤」、「ものづくり基盤」、「品質基盤」、「財務基盤」の強化に向けた各種施策を実行に移しております。市場メイプレイヤーへのグローバル営業の強化、グローバル生産体制の強化、グローバル調達によるコストの低減、さらには新事業開発の取り組みの強化を図って参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は18,677百万円（前年同期比26.6%増）となり、収益面におきましても、連結営業利益は3,049百万円（前年同期比405.6%増）、連結経常利益は3,239百万円（前年同期比425.5%増）となり、連結四半期純利益は3,443百万円（前年同期は222百万円の連結四半期純損失）となりました。

各事業の業績は次のとおりであります。

「エンブラ事業」

自動車用部品は、米国、アジアにて堅調に推移しましたが、日中関係の悪化による中国での日本車販売急減の影響により中国での販売が減少しました。当社主力製品であるプリンター用部品は年末にかけて在庫調整の動きにより低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,151百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント営業損失は163百万円（前年同期は88百万円のセグメント営業利益）となりました。

「半導体機器事業」

国内販売は、新規製品の売上寄与により好調に推移しましたが、当上半期から一転して海外向けの車載、CPU用途の受注が悪化しました。海外調達拡大によるコスト低減はあったものの、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,904百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント営業利益は339百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

「オプト事業」

光ピックアップレンズは、世界的なノートPCの販売低迷、光ディスクドライブの搭載率低下の流れに加え、価格競争の激化により受注減となりました。光通信関連レンズは、生産の海外移管を進めコスト競争力の強化を図りました。LED用拡散レンズは、一部顧客においてモデルチェンジによる在庫調整があったものの、LED光源液晶テレビの中でもコストメリットのある光源直下型タイプの採用がさらに進んだことにより、当社レンズの搭載モデルが拡大いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,622百万円（前年同期比151.9%増）、セグメント営業利益は2,873百万円（前年同期は153百万円のセグメント営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は34,271百万円となり、前連結会計年度末比2,962百万円の増加となりました。流動資産につきましては2,794百万円増加しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で363百万円減少したものの、現金及び預金で2,814百万円増加したことによるものです。固定資産につきましては167百万円増加しました。主な変動要因は無形固定資産で105百万円減少したものの、有形固定資産で173百万円、投資その他の資産で100百万円増加したことによるものです。

負債は3,763百万円となり、前連結会計年度末比713百万円の減少となりました。流動負債につきましては282百万円増加しました。主な変動要因は買掛金が51百万円減少したものの、未払法人税等が329百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては996百万円減少しました。主な変動要因は工場閉鎖損失引当金が757百万円、長期借入金が149百万円減少したことによるものです。

純資産は30,508百万円となり、前連結会計年度末比3,675百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金が2,914百万円、為替換算調整勘定が429百万円増加したことによるものです。その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は88.4%となり、前連結会計年度末比で3.6%増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月30日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、株式会社エンプラス ディスプレイ デバイスを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、株式会社エンプラス精機は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却の方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,454,770	13,269,530
受取手形及び売掛金	5,752,524	5,388,900
有価証券	1,200,000	1,200,000
製品	600,496	620,316
仕掛品	384,089	632,304
原材料及び貯蔵品	473,386	541,682
その他	1,405,483	1,406,990
貸倒引当金	△11,547	△5,989
流動資産合計	20,259,205	23,053,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,330,582	3,609,670
機械装置及び運搬具（純額）	2,127,068	2,154,894
土地	3,153,566	3,008,123
その他（純額）	954,174	965,774
有形固定資産合計	9,565,391	9,738,462
無形固定資産		
ソフトウェア	670,941	567,726
その他	10,969	8,789
無形固定資産合計	681,911	576,516
投資その他の資産	802,883	902,983
固定資産合計	11,050,186	11,217,963
資産合計	31,309,391	34,271,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,217,375	1,166,091
1年内返済予定の長期借入金	199,992	199,992
未払法人税等	120,952	450,075
賞与引当金	331,000	206,585
役員賞与引当金	48,483	56,711
その他	965,720	1,086,968
流動負債合計	2,883,524	3,166,424
固定負債		
長期借入金	700,012	550,018
退職給付引当金	8,979	12,618
役員退職慰労引当金	17,193	13,635
工場閉鎖損失引当金	757,000	—
その他	109,863	20,365
固定負債合計	1,593,048	596,637
負債合計	4,476,572	3,763,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,021,143	10,128,399
利益剰余金	18,963,011	21,877,850
自己株式	△8,807,209	△8,506,212
株主資本合計	28,257,400	31,580,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,920	28,298
為替換算調整勘定	△1,726,447	△1,297,310
その他の包括利益累計額合計	△1,697,526	△1,269,011
新株予約権	253,023	174,869
少数株主持分	19,921	22,287
純資産合計	26,832,818	30,508,636
負債純資産合計	31,309,391	34,271,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	14,755,906	18,677,878
売上原価	9,548,735	10,596,258
売上総利益	5,207,171	8,081,619
販売費及び一般管理費	4,604,111	5,032,517
営業利益	603,060	3,049,102
営業外収益		
受取利息	30,552	21,031
受取配当金	16,968	12,815
為替差益	—	54,547
スクラップ売却益	29,939	68,376
その他	48,000	54,707
営業外収益合計	125,461	211,479
営業外費用		
固定資産賃貸費用	8,271	14,414
為替差損	93,110	—
その他	10,645	6,480
営業外費用合計	112,027	20,894
経常利益	616,493	3,239,686
特別利益		
工場閉鎖損失引当金戻入益	—	757,000
委託契約解除益	101,415	—
その他	8,967	11,456
特別利益合計	110,382	768,456
特別損失		
投資有価証券評価損	183,183	35,169
事業再構築費用	120,828	6,290
減損損失	—	158,532
災害による損失	143,217	—
災害損失引当金繰入額	308,147	—
その他	47,834	6,732
特別損失合計	803,211	206,724
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△76,334	3,801,418
法人税、住民税及び事業税	146,664	698,784
法人税等調整額	△3,030	△343,020
法人税等合計	143,634	355,763
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△219,969	3,445,654
少数株主利益	2,631	1,835
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△222,600	3,443,819

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△219,969	3,445,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,112	△621
為替換算調整勘定	△559,326	430,905
その他の包括利益合計	△624,438	430,283
四半期包括利益	△844,407	3,875,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△845,069	3,872,334
少数株主に係る四半期包括利益	661	3,603

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) その他の注記事項

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。